

【バレエジュニア部 予選講評】

- 全体的にジャンプの着地の音が気になりました。身体の引き上げが足りない、足が使えていないなど気を付けるべき所はあると思います。上半身に対して下半身の訓練が足りていないように感じました。足元はバレエの基本なのでしっかりレッスンしていただきたいと思います。女性のポアントの立ち方もトウシューズに頼っているのが気になるので、しっかり自分の足で立てるようにした方がよいと思います。
- アンデオールの意識が高く、基礎をきちんと踊っている人達が多く、レベルの高い予選でした。ただ、丁寧に踊ろうとするあまり音楽のテンポがスローになり過ぎてスピード感が失われるのは残念です。場所を移動する時に歩く、走る、動きも踊りの雰囲気に合わせて欲しいです。
- 皆さん、大変レベルが高く、これからの日本のバレエ界が楽しみになりました。テクニックだけでなく、表現にも優れた方が沢山いらっしゃいました。その反面、自分をなくしてしまう方も見うけられました。しっかり舞台に立って踊るためにはやはりアンデオールを意識して欲しいです。
- 今年もレベルが高く、見ごたえがありました。上半身とポールドブラがもう少し歌って（使って）下さる方が増えると嬉しく思いました。テクニック的には本当にレベルが高く、素晴らしいですね。一番、心にとめて頂きたい事、それは、ご自身が心から楽しく、役になりきって踊って下さったか。これからも楽しみにしてます。

■クラシックバレエにおいて最も大切な事は何よりもまず「アンデオール」をする事だと考えます。そしてそれを使って正しいポディションを取り、すべてのパをつないでいく事です。

たとえ今すぐには出来ない事でも継続して繰り返し、基礎的な事を積み重ねて取り組み続けることが上達と自分の向上につながるはずで
す。

■全国舞踊コンクールならではの、レベルの高い予選でした。ただ途中
まで見事であっても終盤で崩れてしまう残念なケースが散見されまし
た。最後まで心と体をコントロールして実力を発揮できるように体
力、集中力を鍛えてゆきましょう。難易度の高いテクニックに気を取
られてしまう様子も見られました。最後まで役を演じ切り、「頑張る」
様子は見せないようにしましょう。

■さすが、全体的にレベルは高いです。

この部門はまずダンスクラシックの動きの基礎をしっかり身につけた
上で、身体のコントロール（自由に身体を動かせる）の能力を高める
こと。

しかし作品や役の理解、表現もこれから重要になります。これも形、
上辺^{うわべ}だけでなく、心、気持ち^{こころ}が自然に表情や動きに現れるようにして
下さい。男性諸君。基本が不十分（舞台上の歩き方）な方も見受けら
れました。バレエはテクニックだけでないことを理解してください。

■ヨーロッパのオペラハウスの成り立ちは、教会の音楽からオペラに発
展したものの間にバレエが上演され、後にバレエだけでも物語を見せ
るようになり、バレエの作品になっていったので、音楽なしでは生ま
れませんでした。自分のペースやBGMのように、なんとなくではダメ
なのです。ステップが音楽なのです。技だと思ってやっている回転もジ
ャンプも全て、ステップなのです。

使用する楽曲、録音、全てふさわしいか考えて下さいね。

■皆様大変お疲れ様でした。

年々、レベルが高くなって日々努力されている様子が伺えます。
全体的に感じたことは、舞台のスペース、客席の広さ、高さ等を考えて、スペーシング、角度（方向）など考えて踊りましょう。
頭かざりの付け方も大切です。踊りに合ったティアラ、花かざり、リボンなど角度もよく考えて付けましょう。

■今年もレベルの高いコンクールだったと思います。

テクニク的に踊れていても、つま先、ポールドブラの神経が行き届いていなかったり、ポアントの立ち方や音楽のとり方などが気になる人が何人かいました。まだ若いのでこれからの成長を楽しみにしています。お疲れ様でした。